第１文型

第１文型とは
第１文型は、文型の中でも一番単純な「S＋V」（主語＋動詞）の形をした文です。しかし、修飾語（句）を伴って複雑になることがほとんどで、簡単とは言いにくいです。早速例文を紹介します。

例文：

I run.　（私は走ります。）

これは簡単ですね。S と V しかありません。ではこれに、修飾語を加えてみましょう。修飾語とは、形容詞や副詞のことです。

例文：

I run very fast.
↑　　↓
←←←
（私はとても速く　走ります。）
↓　　↑
→→→→→→

「とても速く　→　走る」となり、走る（ run ）という動詞を詳しく説明しているので、とても速く（ very fast ）は副詞句です。副詞句は修飾語の働きをするので、この文は、

⇒　I run very fast.
S　V　修飾語句

このように理解することができます。

さて、次はさらに修飾語を加えた例文です。

例文：
I run very fast in the park with my brother.
↑　↓　↓　↓
←←←←←←←←←←←←←←
（私は弟と一緒に公園をとても速く走ります。）

かなりややこしくなってきました。しかし、それぞれの言葉がどの言葉に係るのかを理解すれば、それほど難しくはありません。
「とても速く　→　走る」となっていたように、
「弟と一緒に　→　走る」
「公園を　→　走る」
となり、「とても速く」「弟と一緒に」「公園を」はすべて走るという動詞を詳しく説明しています。

ということは、すべて副詞句です。すなわち、修飾語です。従ってこの文は、
⇒　I run very fast in the park with my brother.
S　V　修飾語句
このように理解することができます。

第１～第５まで、「こんなややこしいのが５つもあるの。」と思うかもしれませんが、逆に、第５文型まで学ぶと　それぞれの理解が容易になります。時間を掛けてじっくりと学んで下さい。

Copyright (C) 2008 All Rights Reserved, ちょいデブ親父の英文法